まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報を お待ちしています。

○問い合わせ 広報情報係 (☎223局3569)







町民の安全・安心のために

1月12日 令和2年遠賀郡消防合同出初式

岡垣中学校体育館で遠賀郡4町の消防団員と遠賀郡消防本部、航空自衛隊芦屋基地が参加して合同出初式が行われました。芦屋町からは守田政孝団長以下70人が参加し、式典では消防活動に貢献のあった団員や団の表彰が行われました。

- ●消防庁長官表彰/永年勤続功労章=山内誠
- ●日本消防協会定例表彰/功績章=守田政孝。勤続章(30年勤続)= 坂本和彦、田中幸一
- ●福岡県知事表彰/永年勤続(20年勤続)=吉永藤綱、山口康徳、 中村安志
- ●福岡県消防協会長表彰/35年勤続=中西守。30年勤続=石橋 郁夫。25年勤続=伊藤健次。20年勤続=吉永藤綱、山口康徳、 中村安志。15年勤続=大庭範久、原﨑功典、後藤了輔、芹田大介、 本田新、志垣拓哉。10年勤続=石橋裕作、長野将広。優良団員章 (5年以上)=川島康佑、大庭晃博、伊藤智博、豊長雄太
- ●福岡県消防協会遠賀支部長表彰/小野哲郎、入江貴大
- ●芦屋町消防団長表彰/吉田悠一郎、伊藤智博、山本幸介、大庭晃博、大庭汰樹(敬称略)

一日観光課長就任!テレビで町の魅力を発信

1月21日 RKB今日感テレビが町を取材

RKB毎日放送の企画である「観光課長土居」の取材でタレントの土居祥平さんが芦屋町を訪れました。波多野町長から辞令を渡されると、「地元が近く子どものころは芦屋町の海に遊びに来ていました。皆さんの知らない新たな町の魅力を発信したいと思います」と元気いっぱいに取材に出ていきました。1月27日、2月3日の前編・後編の2回に分けて放送される予定です。









心に届くといいな、柏原ルールの楽しくまちづくり!

1月 18 日 地域福祉講演会×芦屋町社会福祉協議会

地域という小さな単位で取り組んでいる助けあいを、町の各地域でも参考にしてもらうことを目的に、町民会館で地域福祉講演会が行われました。住民が地域の事業者の協力を得ながら、移動や買い物支援に取り組んでいる福津市の事例紹介と柏原区の自主的なまちづくり委員会が昨年から取り組んでいる公民館での買い物支援の実践報告がありました。発表者の福田由美子さん(柏原区)は、「活動は、大変だと思われるが、できるところやできそうなところから始めてみるといいと思います。この町で成長していく子どもたちには、助け合い、支え合っている大人たちの姿を見て、感じて育っていってもらいたい」と力強く話していました。





鏡餅って、カチンカチンになるんだね!

1月10日 若葉保育所鏡開き

今年1年間の無病息災を願って、正月に飾られた鏡餅を開く鏡開きが若葉保育所の年中・年長児のクラスで行われました。子どもたちは鏡餅の飾りの名前や意味、鏡開きのやり方などの説明を受け、ひとりずつ木槌で餅をたたきました。大きな餅を子どもたちの力で砕くのは大変でしたが、何度も挑戦したり、小さくなった餅をさらに手で小さくちぎったりと、みんな楽しそうに活動していました。後日、揚げ餅のおやつとして残さず食べたそうです。

芦屋かるたで、芦屋の歴史を学ぶ

1月14日 山鹿小学校区祖父母学級×芦屋町出前講座

芦屋の歴史・文化を学び、郷土愛を深めるために、「芦屋かるたで芦屋を学ぼう」の出前講座が山鹿小学校区祖父母学級で行われました。「芦屋かるた」は町制施行120周年を記念して、町の歴史・文化・自然をテーマに作られたものです。今回の講座では歴史の里の学芸員により、かるたをしながら読み句の説明があり、参加者からは「50音すべて読み終わらなかったので、続きを聞きたいです」などの感想が聞かれました。





想像力は無限大!障がい者によるアート展

1月18日~2月2日 あしやんナーレ 障がい者アート

芦屋町を中心に福岡県内より集まった障がい者アーティストたちによる作品展がギャラリーあしやで行われています。初日には、障がい者福祉サービス事業所みどり園の21人と石松敬子さんなど、作家の皆さんが来場し、斬新な発想力で描かれた作品を鑑賞していました。「作品作りの時間をとても楽しんだ」という篠崎新司さんや「作品の名前にも工夫を重ねた」という矢野早耶香さんなどいきいきと話をしてくれました。